

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
 担当課長名：東川 直正

事業の概要

|           |   |       |                 |      |                  |
|-----------|---|-------|-----------------|------|------------------|
| 事業名       | 一般国道55号（阿南安芸自動車道）<br>海部野根道路   | 事業区分  | 一般国道            | 事業主体 | 国土交通省<br>四国地方整備局 |
| 起終点       | 自：徳島県海部郡海陽町多良<br>至：高知県安芸郡東洋町野根  | 延長    | 14.3km          |      |                  |
| 事業概要      | 海部野根道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、徳島県海部郡海陽町多良から高知県安芸郡東洋町野根に至る延長14.3kmの自動車専用道路である（阿南安芸自動車道は徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110kmの地域高規格道路である）。  |       |                 |      |                  |
| 事業の目的、必要性 | 南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の支援を支える「命の道」として機能するよう津波浸水域を避けつつ役場や防災拠点、集落を連絡し、四国横断自動車道、高知東部自動車道と一体となって四国8の字ネットワークを構成。都市部や空港からのアクセスを改善し四国東南地域における観光振興や地域産業の育成・発展を支援するとともに、高次救急医療機関へのアクセス向上により、緊急搬送など医療活動を支援するものである。 |       |                 |      |                  |
| 全体事業費     | 約730億円  | 計画交通量 | 約1,900～3,200台/日 |      |                  |
| 事業概要図     |   |       |                 |      |                  |

|                |  |
|----------------|--|
| 関係する地方公共団体等の意見 | <p>【徳島県知事】<br/>                 一般国道55号（阿南安芸自動車道）「海部野根道路」を予算化することについて同意するとともに、心から感謝申し上げます。「海部野根道路」につきましては、県において、穴喰インターチェンジ（仮称）へのアクセス道路である「県道久尾穴喰浦線」の整備を推進するとともに、四国横断自動車道「新直轄区間」や阿南安芸自動車道の事業化区間と同様、用地取得をはじめ事業促進に向けた最大限の支援をして参ります。</p> <p>【高知県知事】<br/>                 一般国道55号（阿南安芸自動車道）「海部野根道路」事業の予算化に同意いたします。<br/>                 本県といたしましては、埋蔵文化財調査や用地買収の早期完了など、事業が円滑に推進できる環境を早期に整えられるよう、沿線自治体や関係機関と連携し最大限努力するとともに、スピード感を持って取り組んでまいります。海部野根道路につきましては、本線へのアクセス道路の整備にしっかり取り組み、東洋町をはじめとした周辺地域の観光拠点への誘客拡大や農林水産物の販路拡大など、観光振興や産業振興の支援につなげてまいります。</p> |
|----------------|--|

|                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 学識経験者等の第三者委員会の意見 | <p>・新規事業化については妥当である。</p> |
|------------------|--------------------------|

|           |  |
|-----------|--|
| 事業採択の前提条件 | <p>・費用対便益：便益が費用を上回っている。<br/>                 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（平成27年4月9日）、都市計画決定手続き完了（平成30年11月16日）</p> |
|-----------|--|

事業評価結果

|        |          |  |   |   |             |
|--------|----------|--|---|---|-------------|
| 費用便益分析 | B/C      | 1.1<br>(0.1)   | 総費用：3,072億円<br>（事業費：2,765億円<br>維持管理費：308億円） | 総便益：3,357億円<br>（走行時間短縮便益：2,818億円<br>走行経費減少便益：391億円<br>交通事故減少便益：148億円）   | 基準年：平成30年   |
|        | 感度分析の結果  | 交通量変動  | B/C=1.0（交通量 -10%）                           | B/C=1.2（交通量 +10%）   |             |
|        |          | 事業費変動  | B/C=1.0（事業費 +10%）                           | B/C=1.2（事業費 -10%）   |             |
|        | 事業期間変動   | B/C=1.0（事業期間 +20%）   | B/C=1.1（事業期間 -20%）                          |   |             |
| 事業の影響  | 者への影響    | 自動車や歩行   | 渋滞対策  | -   | 注目すべき影響はない。 |
|        |          | 事故対策   | -   | 注目すべき影響はない。   |             |
|        |          | 歩行空間   | -   | 注目すべき影響はない。   |             |
|        | 社会全体への影響 | 住民生活   | ◎   | 【安全・安心な医療アクセスの確保】<br>・四国東南地域から高次医療施設への搬送時間短縮や安静搬送により患者への負担を軽減。<br>[野根地域から海部病院への所要時間]<br>現況 32分 ⇒ 整備後 26分（約6分短縮）<br>[野根地域から徳島赤十字病院への所要時間]<br>現況 95分 ⇒ 整備後 89分（約6分短縮）<br>[国道55号（野根地域～海部病院間）の急カーブ、急勾配箇所の解消]<br>現況 急カーブ34箇所、急勾配8箇所<br>⇒ 整備後 急カーブ5箇所（29箇所減）、急勾配1箇所（7箇所減） |             |
|        |          | 地域経済   | ◎   | 【観光振興や産業振興に寄与】<br>・関西圏からのアクセス強化や、広域周遊ルートの形成により、魅力ある四国東南地域の観光振興を支援。<br>[徳島空港から生見サーフィンビーチへの所要時間]<br>現況 147分 ⇒ 整備後 141分（約6分短縮）   |             |
|        |          | 災害   | ◎   | 【防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援】<br>・津波浸水する国道55号に代わり、浸水しない当該路線が円滑な救助活動に寄与。<br>[阿南安芸自動車道 海部～野根間を移動する経路における津波浸水区間の延長]<br>現況 約7割（国道55号経由） ⇒ 整備後 0km（阿南安芸自動車道経由）   |             |
|        |          | 環境   | -   | 注目すべき影響はない。   |             |
| 地域社会   | ◎        | ・地域防災公園を中心に、沿線地域間で連携を促進できる防災まちづくりに寄与。  |   |   |             |
| 事業実施環境 | ○        | ・計画段階評価手続き完了（H27.4.9）、都市計画決定手続き完了（H30.11.16）<br>・徳島県知事や高知県知事ら沿線自治体首長より早期事業化を要望 |   |   |             |

採択の理由

費用便益が一体評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、海部野根道路の整備により防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援し、観光振興や地域産業支援、安全・安心な医療アクセスの確保など事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※B/Cの上段は徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

## 新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

| 事業の必要性   |   |  |
|--|---|--|
| <p>南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道55号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や「阿波尾鶏」に代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第二次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。</p> |   |  |
| 評価項目   | 地域の課題   | 関連する計画   |
| 救助活動等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ地震は今後30年以内の発生確率が70～80%、広範囲で甚大な被害が想定される。並行する国道55号は約7割が浸水。（最大浸水約19m）</li> <li>被害軽減に向け、防災公園の整備などの防災まちづくりの検討が進められている。防災拠点施設への円滑な救命・救助部隊のアクセスを確保することが今後の課題。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>※四国圏広域地方計画（H28.3）</li> <li>・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。</li> <li>・防災上重要な拠点間を結ぶ高規格幹線道路や地域高規格道路等の主要幹線道路、耐震強化岸壁、空港施設等のインフラ整備を推進する。</li> </ul> |
| 住民生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の増加や医療サービスへのニーズの高まりから、海部野根道路を通過する救急搬送は増加傾向。ただし、当該地域から最も近い第三次救急医療機関への移動は約95分も要し迅速な治療が受けられない。</li> <li>・さらに現道の急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>※四国圏広域地方計画（H28.3）</li> <li>・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。</li> <li>・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）をまちの拠点となるエリアへ誘導する。</li> </ul>         |
| 地域経済<br>地域社会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>観光レジャーなど自然豊かな観光資源が存在するものの、観光入込客数は減少傾向。関西圏からのアクセスや、点在する観光資源を相互に連携し、広域周遊ルート形成が必要。</li> <li>・海陽町では全国地鶏出荷量トップの「阿波尾鶏」が生産加工されており、地域の主要産業である。全国へ出荷時や日々の餌の運搬・確保のためには、急カーブ・急勾配箇所による運転者への負担が課題。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>※四国圏広域地方計画（H28.3）</li> <li>・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨がって、テーマ性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。</li> <li>・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。</li> </ul>                            |
| その他  |   |  |

| 事業の有効性   |           |     |           |                               |                               |                  |                |                |    |
|--|-----------|-----|-----------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|----------------|----------------|----|
| <p>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える第二次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。</p> |           |     |           |                               |                               |                  |                |                |    |
| 道路ネットワークの<br>防災機能  | 主な区間      |     | 改善ペア数     | 脆弱度<br>(防災機能ランク)              |                               | 累積脆弱度<br>の変化量    | 改善度            |                | 評価 |
|  |           |     |           | 整備前                           | 整備後                           |                  | 通常時            | 災害時            |    |
|  | 新海部<br>病院 | 室戸市 | 73<br>(5) | 0.85<br>[C]<br>( 0.8 )<br>[C] | 0.75<br>[C]<br>( 0.8 )<br>[C] | 1385.8<br>(57.3) | 0.21<br>(0.01) | 0.14<br>(0.00) | ○  |

| 事業の効率性   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階評価手続き完了（平成27年4月9日）、都市計画決定手続き完了（平成30年11月16日）</li> </ul> |

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。